

つぎの14観点 14点満点（部分的に充足は0.5点、未充足は0点）（書類審査点と合算の際は、面接審査点に2倍の重みづけ）

---

(1) プレゼンの内容

【1-1】

提案課題（プロジェクト）についての要領を得た背景（自身の学修経験を含む）の説明があった。その背景と課題とのつながりが論理的で明快であった

上記について部分的に充足

未充足

【1-2】

プロジェクトの成果と革新性がはっきり捉えられていた。波及効果に関するビジョンも示された

上記について部分的に充足

未充足

【1-3】

プロジェクトに含まれる問題解決の要点が明確に示された

上記について部分的に充足

未充足

【1-4】

プロジェクトの遂行方法について具体的な手順が示された。その現実性について妥当性があった

上記について部分的に充足

未充足

**【1-5】**

- プロジェクトの遂行についてチームスタディの仕方が明快に提起された
- 上記について部分的に充足
- 未充足

**【1-6】**

- チームスタディやチームワークのとりかたに工夫が示された
- 上記について部分的に充足
- 未充足

**【1-7】**

- プロジェクト遂行にあたりクリアすべき諸点が明確に示された
- 上記について部分的に充足
- 未充足

---

(2) プレゼン発表力(技能)

**【2-1】**

- 説明はたいへんわかりやすく伝わってきた
- 上記について部分的に充足
- 未充足

**【2-2】**

- 説明には十分な説得力があった
- 上記について部分的に充足
- 未充足

**【2-3】**

- 説明に際し必要となる背景知識に安定性を感じることができた
- 上記について部分的に充足
- 未充足

**【2-4】**

- 説明媒体について受け手に配慮した工夫がはっきりとなされていた
- 上記について部分的に充足
- 未充足

**【2-5】**

- 説明からこのプロジェクトへの熱意が十分に伝わってきた
- 上記について部分的に充足
- 未充足

---

(3) プレゼン質疑応答に対する対応(考える力)

【3-1】

- 質疑に対して臨機応変に対応でき、柔軟な思考力や知識運用を感じさせた
- 上記について部分的に充足
- 未充足

【3-2】

- 常に質疑の要点を押さえた応答をしていた
- 上記について部分的に充足
- 未充足